

サステナブルな学びで生きる力を養う



大東尚学館の塩沢茂樹代表

「他と異なれ」を合い言葉に、日々指導にあたっている大東尚学館(大阪・大東市)の代表 塩沢茂樹氏。それを体現すべく、この9月からは全国に先駆けて「サス学」という探究型の学びを導入した。ジェイシー教育研究所が開発・販売するサス学クラウドサービスの最初の利用者となったのだ。なぜ「サス学」だったのか、どのように展開していくのかなどについて、同氏に話を聞いた。

教育の本質を見つめて

——大東尚学館の特徴をお聞かせください。
当塾は中学受験専門塾で、「鍛える」をコンセプトにしています。ただ、やたらと時間を拘束するのではなく、効率的な指導で子供に時間的な余裕を与えることを意識しています。というのも家族揃っての夕食、十分な睡眠時間な

ど、生活の基本を大切にしたいですし、子供たちに余白を持ってもらいたいからです。それによって、深い思考につながると思っています。
——指導方法に特徴はありますか。
中学受験専門なので基礎力や処理能力の高さは重視していますが、それにプラスした力を養いたいとも考えていま

す。そこで始めたのが「リーディングアカデミー」「オンライン英語」「プログラミング」の3つです。特にリーディングアカデミーは7年前、プログラミングは5年前と、早くにスタートしました。
——これまではどういう生徒が育っているのでしょうか。
水泳選手としてジュニアオリンピックに出場した子や、東大に進学した子など、いろいろな道に進んでくれています。ですが、合格実績はあまり意識していません。合格実績は塾側の理論にすぎませんので、「勉強が面白くなった」「視野が広がった」など、この塾に通うことで一人ひとりが何かをつかんでくれたら嬉しいですね。それが教育の本質だと思います。

——最近、取り組みはじめたことはありますか。
私は株式会社日本次世代教育総合研究所を設立し、当塾を運営しています。この企業名にしたのは、「次の世代の教育を考えたい」という想いがあるからです。また人と違ったことをすることで存在意義を見出せると思っていますので、普段から「失敗してもいい、他と異なれ」と指導しています。それを体現すべく、私自身も他塾と違うことに挑戦するようにしていて、全国で初めてサス学クラウドサービスを先日導入しました。
——「サス学」とはどのような学びのですか。
サステナビリティ学習の略である「サス学」は、社会で



どんどん生徒の手が挙がるサス学の授業

地球環境などについて学ぶ機会があればと常々思っていたところ、昨年11月に知人に紹介してもらって知りました。「自分が求めている学びに取り組める! 他塾と違うことができる!」と思い、採用を決めています。今年の夏に試験的に導入し、9月からオプション講座としてレギュラー化します。

初めての導入でも安心のバックアップ体制

——塾で指導するには、少しハードルが高いように感じますが。
フォロワー体制は充実しています。サス学講師になるには認定が必要なのですが、まずは前段階としてeラーニングが用意されています。そこで「サス学」の考え方をしっかりと学んだ後、ケーススタディのディスカッションや

理想の講師像の共有など、1日間リアルでの研修を受けます。本部の認定者の前で模擬授業をおこない、合格すれば今度は生徒の前で体験授業を実施。それをビデオで撮って本部に送り、合格となればサス学講師として認定されます。
eラーニングの動画は10時間くらいなので、1か月もあれば通常の授業と並行しながら終わられるはずです。またサス学クラウドサービスを提供しているジェイシー教育研究所の方も「子供と同じように、講師も永遠に勉強が必要。サス学を軸にして、いろいろな教育人と切磋琢磨していきたい」と話しています。

——研修を受けてみていかがでしたか。
できないことができていくので、すごく楽しかったですね。挑戦すべき分野を認識するいい機会だと思います。また実際の授業は動画を視聴しながら進めますが、例えば「宇宙はこういうものだ」と一方的に教えても、つまらない授業になってしまふ。アクティブラーニングにまで昇華させるのは、それなりにスキルがいるなと感じました。
——試験的に実施した感想をお聞かせください。
最初2回は無料、あとの2回は1人3000円と、計4回講座を開いたのですが、保護者は毎回まだかまだかという状態で。定員10人の枠は、メールで発表してからいつも5分で満員となりました。

——9月からのレギュラー化では、どのように実施するのでしょうか。
15回がワンパックとなっていて、週1回×月4回×4か月でおこないたいと考えています。平日に授業を入れていた子が受講できないといけないので、平日と土曜の2クラスを開校する予定です。対象は小3〜小6で、内都生は月6000円程度と考えています。今後、子供たちにとどのような変化が見られるのか、講師共々楽しみにしています。

——なぜ「サス学」だったのでしょうか。

起きていることを自分ごととして捉え、持続可能な未来を創るための知恵や価値観を育む学びです。具体的には、地球温暖化、貧困、少子高齢化など、様々な社会課題をテーマにピックアップ。1つのテーマに対し、インプットとアウトプットを繰り返しながら、子供たちが自ら学んでいきます。そして最後には、保護者などの前でプレゼンをおこないます。

——研修を受けてみていかがでしたか。
できないことができていくので、すごく楽しかったですね。挑戦すべき分野を認識するいい機会だと思います。また実際の授業は動画を視聴しながら進めますが、例えば「宇

サス学

SUS-GAK

「サス学」は三井物産株式会社の登録商標です。
「サス学」を導入するには、ジェイシー教育研究所が提供する、サス学クラウドサービスSGXのご利用が必要です。くわしくはこちらのページをご覧ください。
<https://jc-sgx.jp/>